

年 組 名前：

問1

ほくとし  
北杜市にオープンした、  
おおがたふくごうゆうぐ しばふひろば  
大型複合遊具や芝生広場などがある  
しせつ めいしよう こた  
施設の名称を教えてください。



QRコード  
から動画を  
見られます



オープンした「ほくともりっこパーク」は北杜市高根町箕輪新町

問2

しせつ めんせき こた  
施設の面積を教えてください。

## もりっこパーク オープン

### 北杜 芝生と幼児の2エリア

北杜市が子育て支援拠点として、同市高根町箕輪新町で整備を進めていた屋外遊戯施設「もりっこパーク」がオープンした。名称は「ほくともりっこパーク」で、大型複合遊具や芝生広場などを備える「芝生エリア」と、幼児用の滑り台などがある「0～3歳エリア」で構成されている。パークは市保健センターに隣接するたかねふれあい公園の敷地約8500平方メートルに整備。市子育て政策課によると、ローラー滑り台やミニバスケットゴールといった既存の遊具6基に加え、新たに10基を設置した。事業費は1億8673万円。芝生エリアには、登り棒や滑り台などが一体となった大型複合遊具や、2人用ブランコなどを整備。0～3歳児エリアは安全面を考慮してフェンスで区切り、3歳児以下対象の滑り台やブランコなどを設置した。ユニバースデザインに配慮した「インクルーシブ遊具」として、車いすに乗ったまま揺れる橋を渡る「ゆらゆらブリッジ」もある。6日にオープニングイベントを行い、大柴邦彦



市長や工事関係者、さらにかば保育園の園児ら約80人が出席。大柴市長は「子どもたちの居場所づくりと、多世代交流の場の確保が目的。多くの市民に愛される公園になればいい」とあいさつした。一方、市は上村英司前市長時代にこそパーク隣接地に屋内遊戯施設「もりランド」の整備も検討していたが、2023年にランドとパークの事業費を増額する一般会計補正予算案に市議の多くが反対し、増額を認めないとする修正案が可決された経緯がある。昨年就任した大柴市長は「このランドを整備しない方針を示している。」

（井村賢紳）

問3

0～3歳児エリアには、どのような  
工夫があり、なにを設置しましたか。

工夫：

設置：

(2025年11月20日付 山梨日日新聞14面)

問4

「インクルーシブ遊具」とは、どのような遊具のことを言いますか。調べて教えてください。